施工説明書

TOTO

アームレスト600／アームレスト750

EWC700型
EWC701型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

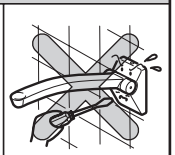
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

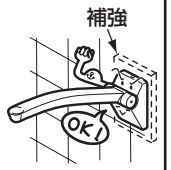
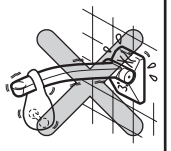
●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 注　意

分解禁止	**修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わない** アームレストの破損や脱落により、けがをするおそれがあります。	
必ず実行	**必ず強度のある壁・建築構造体に取り付ける** 土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けると、アームレストが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	必ず当社指定の固定金具を使用する 当社指定の固定金具を使用しないと、アームレストが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	

⚠ 注　意

必ず実行	**各下地の取付方法をよく読み、十分な下地の厚さ、および補強があることを確認する** 下地に十分な厚み・補強がないと、アームレストが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	取り付け完了後、アームレストにガタツキがないことを確認する アームレストにガタツキがあると、アームレストが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	アームレストの耐荷重は、鉛直荷重1KN、水平荷重600Nですので、この耐荷重以下で使用する 耐荷重以上で使用しますと、アームレストが外れたり、壁が壊れたりして使用される方が転倒し、けがをするおそれがあります。	
	アームレストを取り付けるとき、アームレストがはね上がるどの位置にあっても、周囲の壁や他の器具などと、手が挟まれない位置に取り付ける アームレストで手を挟み、けがをするおそれがあります。	

2 取り付け前に

取り付け前の注意

●アームレストを取り付ける壁に **十分な強度がある** ことを確認してください。

● **屋外や常時水に接する場所には取り付けない** でください。
変色や変形のおそれがあります。

●固定方法は **建物の構造に応じて適切な方法を選んで** ください。
アームレストは、アームレスト本体と壁への固定金具が別々の品番となっている場合がありますので、壁の構造に応じて別途固定金具をご注文ください。固定金具はアームレスト1つに対して1つ必要です。固定金具必要セット数は「 3 固定金具(別売品)」を参照してください。

● **アームレストの可動範囲に障害物のないこと** を確認してください。
可動範囲については「 5 完成図」を参照してください。
また、壁固定位置の上下に、カバーをねじ止めする作業ができる空間を確保してください。(プラスドライバー工具が入ること。)

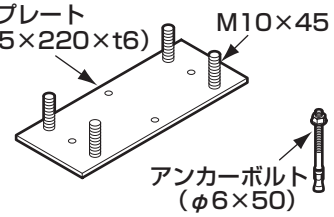
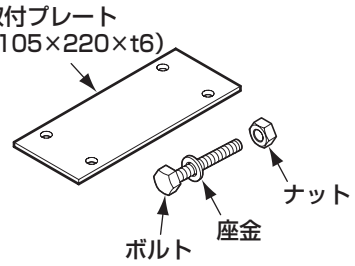
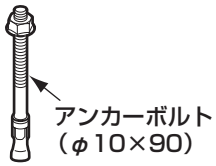
●アームレストの取付位置は設計施工資料集などを参照してください。

●アームレストの機能の確認は、取り付け前ではなく、取り付け完了後に行ってください。
アームレストは壁に取り付けて初めて機能を発揮しますので、壁に取り付けずにひじ掛けを動かすと重たく感じることがあります。

● **アームレスト表面に傷を入れると補修できません** ので、取り扱いには注意してください。

3-1 固定金具(別売品)

〈固定金具一覧表〉

固定方法	固定金具品番	内　容	セット内訳
取付プレート固定	EWCP700−1		固定箇所：1カ所分 ・取付プレート/1枚 ・アンカーボルト/4本
はさみ込み固定	EWCP700−2		固定箇所：1カ所分 ・取付プレート/1枚 ・ボルト、座金、ナット/各4個
アンカーボルト固定	T110D17R		固定箇所：1カ所分 ・アンカーボルト/4本

〈現場調達部品必要個数一覧表(個/固定金具1カ所分)〉

	M10ステンレス長ねじボルト(注2)	M10ステンレスナット	M10ステンレス高ナット	M10用座金
GL工法(注1)	4	4	4	ー
コンクリートブロック下地	4	4	ー	4

注1：GL壁の仕上げ面までの厚みが30mm以上の場合、必要になります。
注2：M10ステンレス長ねじボルトの長さは、壁の厚みを考慮して準備してください。

3-2 固定金具(別売品)

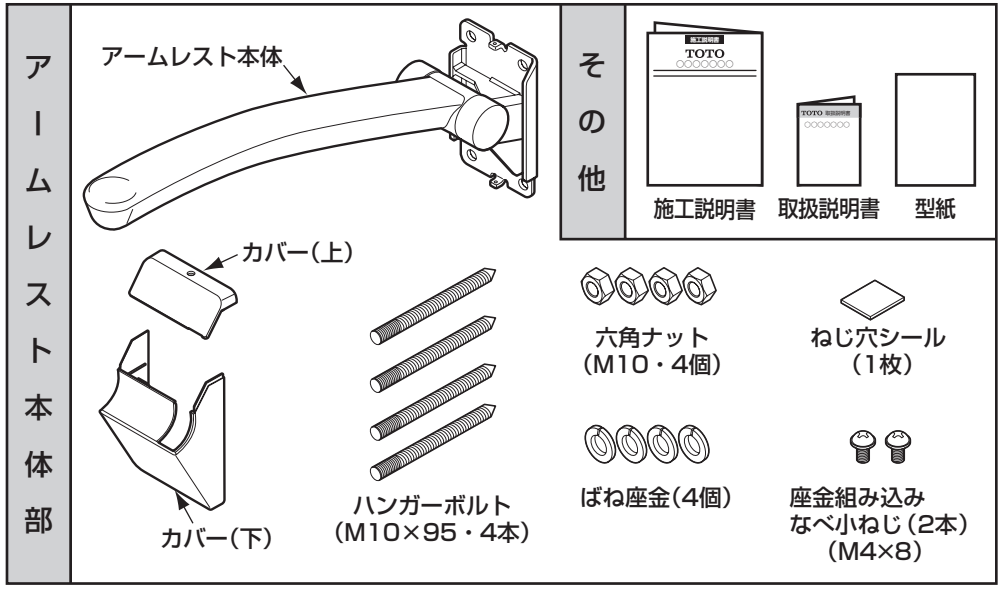
〈固定金具必要個数一覧表〉

施工方法		固定金具	個数
コンクリート下地	取付プレート固定	EWCP700−1	1
	アンカーボルト固定	T110D17R	1
GL工法(注1)		EWCP700−1	1
軽量鉄骨下地			
コンクリートブロック下地(注1)		EWCP700−2	1
木下地	ハンガーボルト固定	同梱しています	ー
	はさみ込み固定	EWCP700−2	1

注1：現場にて別途部品を準備していただく場合があります。
〈現場調達部品必要個数一覧表〉を参照してください。

4 部品の確認

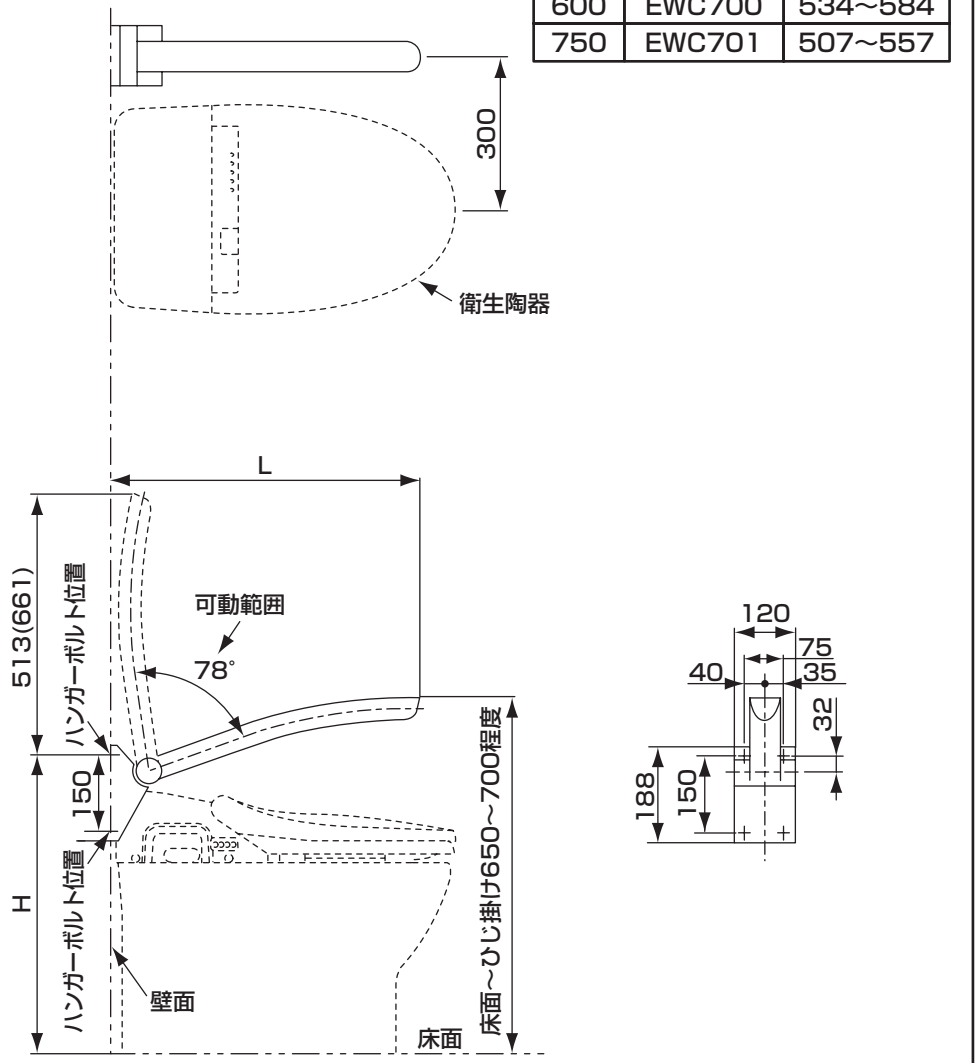
次の部品があることを確認してください。



5 完成図

(単位：mm)

L(mm)	製品品番	H(mm)
600	EWC700	534〜584
750	EWC701	507〜557



( )はEWC701型を示す

6 施工手順

1. 位置決め

アームレストの取付位置を決め、下穴をあける。

※同梱の「型紙」をご利用ください。

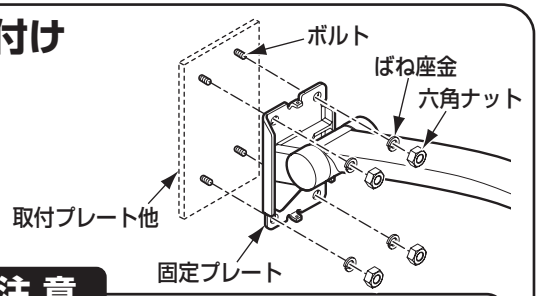
※穴あけ方法は「7 壁への固定金具の取り付け」の各固定方法を参照してください。

2. 壁への固定金具の取り付け

※固定金具の取付方法は「7 壁への固定金具の取り付け」の各固定方法を参照してください。

3. アームレストの取り付け

壁仕上げ面から出たボルトに、固定プレートとばね座金を通したあと、六角ナットで締め付けてください。



注 意

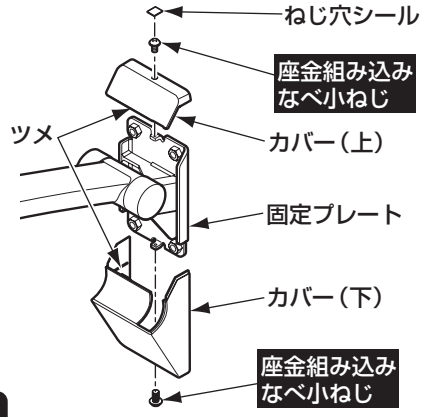
●六角ナットを強く締め過ぎてタイルを割らないように注意してください。

4. カバーの取り付け

①カバー(下)を固定プレート下方より差し込み、座金組み込みなべ小ねじで止める。

※あらかじめ、ねじを半分締めた状態でカバー(下)を取り付けると、作業がしやすくなります。

②カバー(上)は、カバー(下)のツメを引っ掛けながら取り付け、座金組み込みなべ小ねじで止め、ねじ穴シールを貼る。
(カバー上下の合わせ面は、外観で1 mm程度のすき間を設けている)



注 意

●上下のねじは強く締め過ぎると、カバーが割れたり、変形したりしますので注意してください。

7-1 壁への固定金具の取り付け

コンクリート下地・GL工法：取付プレート固定の場合

コンクリート下地の場合

固定金具品番	EWCP700－1

①心出しをしたあと、φ6mm、深さ50mmのアンカーボルトの下穴をあける。注1

②ナットをアンカーボルト上端から2mm程度までねじ込み、取付プレートの取付穴に通し、下穴に軽く打ち込む。

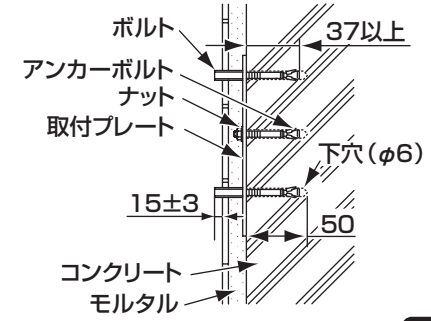
GL工法の場合

現場調達部品(壁仕上げ面の厚みが30mm以上の場合)	●M10ステンレス長ねじボルト(4本) ●M10ステンレス高ナット(4個) ●M10ステンレスナット(4個)

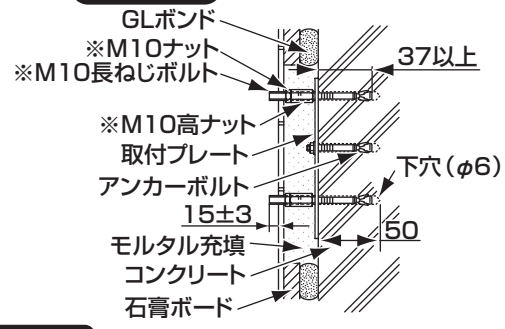
③アンカーボルトのナットを締め付ける。注2

④取付プレートのボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整する。注3
壁仕上げ面の厚さが30mm以上の場合、取付プレートのボルトにM10高ナット、M10ナットにてM10長ねじボルトを継ぎ足して調整する。

コンクリート下地の場合



GL工法の場合　※印は現場調達部品



注 意

注1：コンクリートにφ6mm、深さ50mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと取付プレートの確実な固定ができないことがあります。

注2：アンカーボルトのコンクリートへの埋め込み代は37mm以上となるように壁を仕上げてください。37mm未満ではアームレストが外れたり、壁が壊れたりするこがあります。

注3：ボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

裏面へつづく

7-2

コンクリート下地：アンカーボルト固定の場合

固定金具品番	T110D17R

①心出しをしたあと、φ10mm、深さ90mmのアンカーボルトの下穴をあける。注1

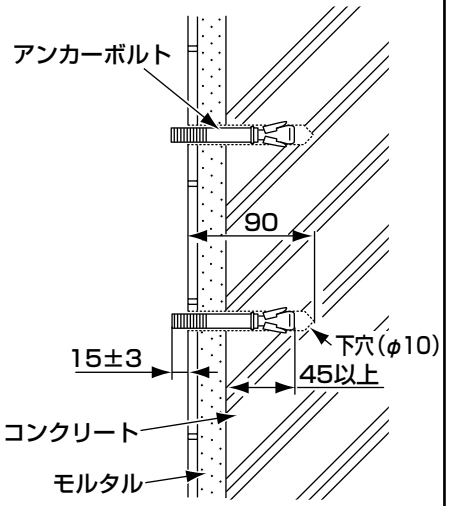
②ナットをアンカーボルト上端から2mm程度ねじ込み、下穴に軽く打ち込む。注2

③アンカーボルトのナットを締め付ける。

④アンカーボルトのナットを外す。

⑤アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整する。注3

※固定金具に同梱のアンカーボルトのナットはアームレストを取り付けるときには使用しません。



注 意

注1：コンクリートにφ10mm、深さ90mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注2：アンカーボルトのコンクリートへの埋め込み代は45mm以上となるように壁を仕上げてください。45mm未満ではアームレストが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

注3：アンカーボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

コンクリートブロック下地：はさみ込み固定の場合

固定金具品番	EWCP700−2
現場調達部品	M10ステンレス長ねじボルト （ブロックの厚み＋壁仕上げ代＋20mm以上のボルト4本） M10ステンレスナット(4個)、M10用座金(4個)

①心出しをしたあと、φ11mmの長ねじボルトの通し穴をあける。 注1

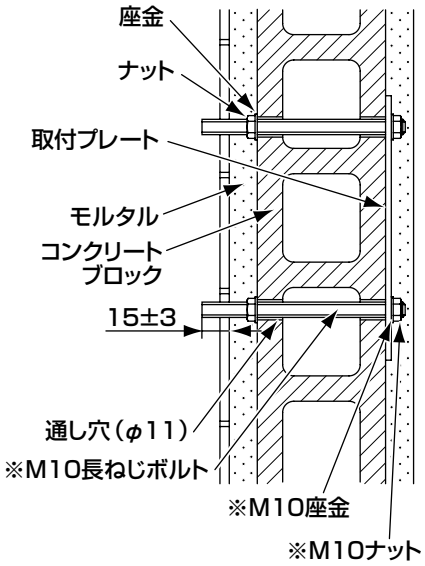
②長ねじボルトを取付プレートの取付穴に通し、通し穴に差し込む。

③長ねじボルトの両側に座金を通し、両側よりナットで締め付ける。

④長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整する。注2

※固定金具に同梱のボルトは使用しません。

※印は現場調達部品



注 意

注1：空洞部をモルタルなどで埋める必要はありません。

注2：長ねじボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

木下地：はさみ込み固定の場合

固定金具品番	EWCP700−2

①事前にアームレスト取付部に厚さ50～60mmの補強木を取り付ける。注1

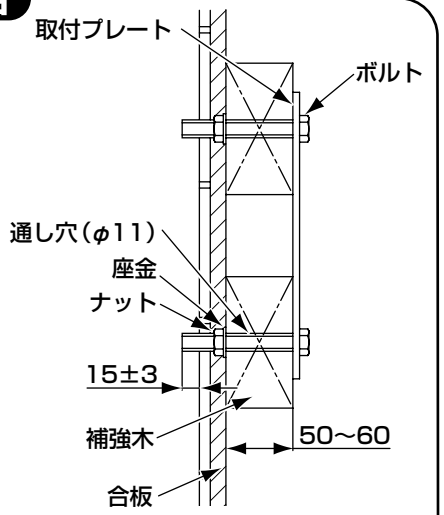
②心出しをしたあと、φ11mmのボルトの通し穴をあける。注2

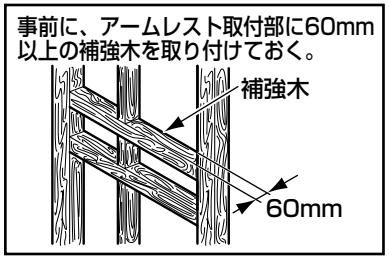
③ボルトを取付プレートの取付穴に通し、壁裏側より通し穴に差し込む。

④壁表面から出たボルトに座金を通し、ナットで締め付ける。

⑤φ25mmのナットの通し穴をあけた合板を取り付ける。

⑥ボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるよう調整する。注3





注 意

注1：厚さ50～60mmの補強木を必ず柱間に取り付けてください。補強木を取り付けないと、アームレストがガタついたり、外れたりすることがあります。

注2：補強木にφ11mmの通し穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注3：ボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

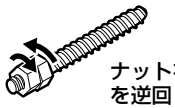
木下地：ハンガーボルト固定の場合

固定金具品番	同梱のハンガーボルトを使用

①事前にアームレスト取付部に厚さ60mm以上の補強木を取り付ける。注1

②心出しをしたあと、φ8.5mmのハンガーボルトの下穴をあける。注2
（タイル壁の場合は、タイル部のみφ11～13mmの通し穴をあける）

③ハンガーボルトに同梱のナット(2個)をダブルナットで固定する。(下図参照)

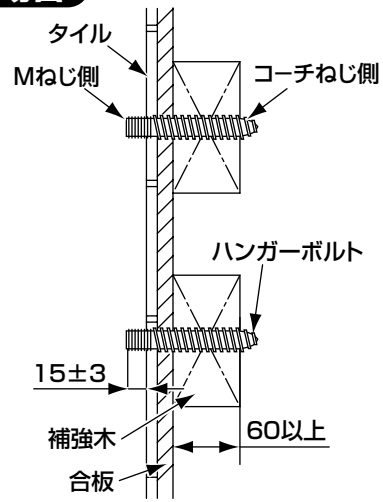


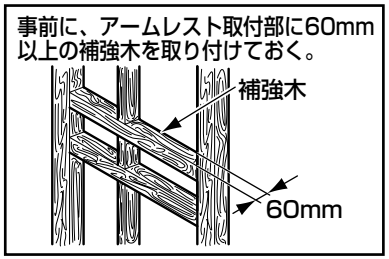
ナットを2個ねじ込み、お互いのナットを逆回しして締め付け、固定する。

④③で固定した、ダブルナットを工具で回し、壁にハンガーボルトをねじ込む。注3

⑤壁仕上げ面よりボルトの出代が15±3mmの範囲となるように調整する。注4

⑥ダブルナットを取り外す。





注 意

注1：厚さ60mm以上の補強木を必ず柱間に取り付けてください。補強木を取り付けないと、アームレストがガタついたり、外れたりすることがあります。

注2：補強木にφ8.5mmの下穴をあけることのできるドリルを使用してください。ドリルの刃サイズが大きすぎたり、心振れを起こすと確実な固定ができないことがあります。

注3：必ずナット(2個)をダブルナットとして壁にハンガーボルトを取り付けてください。

注4：ハンガーボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

7-4

軽量鉄骨下地：取付プレート溶接固定の場合

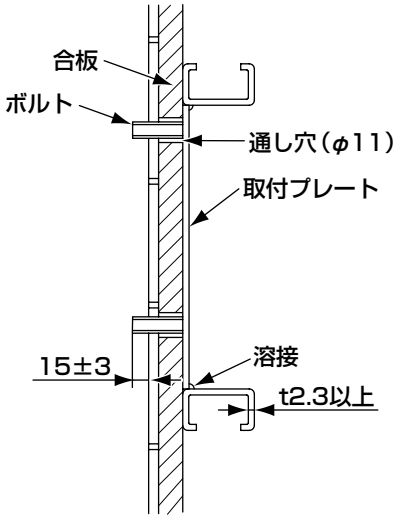
固定金具品番	EWCP700－1

①心出しをしたあと、取付プレートをt2.3mm以上の軽量鉄骨に溶接する。 注1

②φ11のボルトの通し穴をあけた合板を取り付ける。

③壁仕上げ後、ボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるよう調整する。 注2

※固定金具に同梱のアンカーボルトは使用しません。



注 意

注1：軽量鉄骨はt2.3mm以上を使用してください。
アームレストが外れたり、壁が壊れたりすることがあります。

注2：取付プレートのボルトの出代が壁仕上げ面より15±3mmの範囲となるように調整してください。15±3mmの範囲から外れるとアームレストがガタついたり、取り付けできないことがあります。

8 点検項目

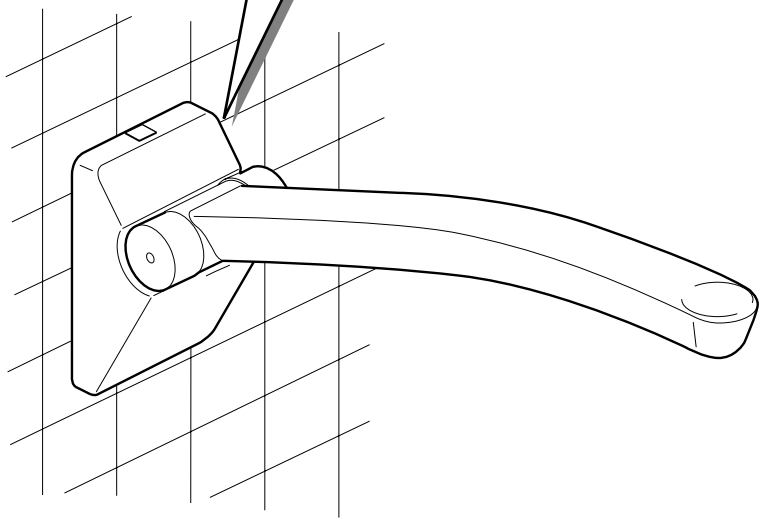
取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

ガタツキの確認

アームレストにガタツキがないか確認してください。

アームレストは壁にしっかり取り付けていますか？

7「壁への固定金具の取り付け」参照



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。